



その8

# =考える力 / 伝える力=

最近のスイッチのウォーキングの仕方に新たな思考を取り入れ始めました。

今までは、「それなりのスピードで長い距離をガンガン歩き、体力がある限り行こう！」を重視でしたが、最近では、「自分たちで考えたり、相談したりして歩く」もしくは「一人で目的地まで行く」というような、「考える」「伝える」「聞く」等を重視した歩き方も取り入れています。

この歩き方の最終目的は

1. 「自発 (自分から進んで行く事)」
2. 「自力 (自分一人の力)」
3. 「自立 (自分の力でやっていく事)」
4. 「協調性 (助け合ったり譲り合ったりしながら同じ目標に向かって任務を遂行する事)」

に繋げて行きたいと思っています。

上記の4つはよく、苦手と言われますが、子どもの脳は柔軟性があり、伝える事でどんどん吸収してくれます！障がいの有無は関係ないです!!! そして、自らの体と感覚で覚えた物は、しっかりちゃんと力になっている事を、強く感じています☆そこで、スイッチらしく！机の上でなく自らの足！身体を使って、子ども達の力を引き出していこうと思っています☆

考える力とは。

観察や記憶によって頭の中に蓄えられた内容を、色々位置づけ、新しい関係性を作り出す働き。この関係性を作る働きの事。

考える力を付けるには、色々な方法がありますが、問題・課題に対して一緒に達成していくという事ではないでしょうか？簡単にいうと、やっぱり「自分でやらせてみる」ということだと思います。なんでも、大人がやってしまうと、「やってくれるもの」と認識をして、やらなくなる＝考えなくなる、と思われれます。これには、障がいの有無は関係ないと思います。その子なりの考える力を付けてあげることと、引き出してあげることが重要でとても大切なことですよね。

考える時間を作ってあげてください！ それには、指示を出したり、お願いをしてから、どう動くかちょっと「待つ」事です★

伝えるとは。

言葉などで伝える。伝達すること。

伝える力を付けるには、「大人が子供の想いを代弁したり、先読みをしてはいけない」んですよね。言葉のアイテムがあるないは関係ないです。それは、スイッチでの活動の中で、良く見えてきます。一人一人、それぞれの方法で一生涯懸命伝えてきます。スイッチでは出来るだけ待つようにしています。ただ、伝え方やどの言葉を使えばいいのか、どう表現をしたらいいのか、苦手なんですよね。そこを、どう引き出すのがキープポイントですね。

その追及に常に邁進中です★